

本宮市にある認知症の人や家族を支援する取り組み

認知症カフェ（オレンジカフェ）

ひまわりカフェ

毎月第3土曜日
時間：10:00～12:00
場所：モコステーション会議室
参加費 200円



あったかカフェまゆみ

毎月第2火曜日
時間：10:00～11:30
場所：まゆみの実
（東北病院敷地奥）
参加費 200円



カフェさとやま

毎月第1月曜日
※祝日の場合は翌日の火曜日
時間：10:00～11:00
場所：トレンテビアンコ
参加費 200円



認知症の人と家族の会（なごみ会）

毎月1回、認知症の人と家族の会『なごみ会』が開催されています。認知症の家族を介護している人や、介護の経験がある家族が参加しています。いつも和気あいあいとした雰囲気、介護のことを相談したり、日常の出来事をお話ししたり、話題はさまざまです。ご興味のある方は、地域包括支援センターまでお問い合わせください。

さまざまなご相談に対応したり、情報提供もしています。

認知症のことで相談したいことがあったら

まずは地域包括支援センターへご連絡ください

本宮第一

地域包括支援センター
本宮市本宮字南町裡129

☎ 24-6220

本宮字・高木地区に
お住まいの方

本宮第二

地域包括支援センター
本宮市青田字花掛20

☎ 34-3344

青田・荒井・仁井田・岩根・
関下地区にお住まいの方

白沢

地域包括支援センター
本宮市和田字戸ノ内321
カサレIF

☎ 24-5131

和田・糠沢・白岩・長屋・
稲沢・松沢にお住まいの方

地区が分からない場合や問い合わせたいことがあるときは

本宮市高齢福祉課 0243-24-5204

地域包括支援センターは、主任介護支援専門員、保健師(看護師)、社会福祉士など専門の資格をもった職員が配置されています。介護に関することや地域の困りごと、日常生活の様々な相談に対応する総合相談窓口です！ お気軽にご相談ください。

本宮市の 認知症地域支援の ご案内

- ・ 認知症地域支援推進員をご存じですか？
地域包括支援センターの取り組みをご紹介します！
- ・ 認知症サポーター養成講座のご案内
- ・ 本宮市にある認知症の人や家族を支援する取り組み

2025年には、65歳以上の高齢者の5人に1人が認知症になると推計されています。誰にとっても身近な認知症。認知症になっても安心して暮らせる地域を目指して、地域のみなさまと協力してさまざまな取り組みを実施しています。



“ロバ隊長”です！

ロバ隊長は、「認知症サポーターキャラバン」のマスコット。認知症サポーターの「キャラバン」（隊商）の隊長として、「認知症になっても安心して暮らせるまちづくり」への道のりの先頭を歩いています。

ご存じですか？ 認知症地域支援推進員

認知症になっても住み慣れた地域で安心して暮らし続けるために医療機関や介護サービス、地域の様々な支援をつなぐ、コーディネーターの役割を担っています。本宮市では、各地域包括支援センターに配置され、以下のような事業を行ったり、認知症の方や家族の相談に対応しています。

活動の一部をご紹介します

世界アルツハイマー月間 普及・啓発



毎年9月の世界アルツハイマー月間に合わせ、本宮市内の公民館や図書館、社会福祉法人などと協力して、認知症支援の普及・啓発活動を行なっています。

認知症ケア 連絡協議会・情報交換会

本宮市内の認知症対応型の介護保険施設（デイサービスやグループホーム）と地域包括支援センター、本宮市役所高齢福祉課が協力して、本宮市内の認知症支援について検討し講演会や研修会など様々な取り組みを行なっています！



施設での過ごし方を紹介する動画を作成

認知症サポーター養成講座

認知症の理解を深める講座です。詳しくは隣のページへ



出前講座も開催しています。認知症の対応の相談や制度の紹介、認知症の予防方法など、ご希望に合わせた内容で行います。

認知症カフェの活動支援

誰でも集える情報交換の場として、認知症カフェ（オレンジカフェ）を開催しています。ボランティアのみならず、地域の方の憩いの場となっています。



認知症になっても、なっていないなくても、誰もが笑顔で安心して暮らせる本宮市を目指して、認知症の本人や家族、地域のみなさんと共に取り組んでいきたく考え、日々活動しています！！

認知症の正しい理解を深めるために

認知症サポーター養成講座のご案内



認知症について基本的な知識を学び、認知症の人や介護している家族を支援するサポーターを養成する講座です。認知症の人に声をかけるときのポイントや家族が認知症になったときに備えて知っておくことなどを学ぶことができます。

誰でも受講することができるので、認知症への関心が高まっている今、ふれあいサロンや地域の集まりから依頼があり、多くの方が受講されています。

“サポーター”といっても、何か特別に決まったことをする人ではありません。“認知症を正しく理解し、認知症の人にやさしくできる人”が“認知症サポーター”です。

【認知症サポーター養成講座の開催例】

- 地域の方からの依頼、ふれあいサロンや地区の集まりで開催
- 小学校の福祉体験の一環として
- ボランティア活動している方のステップアップとして
- 企業向け認知症サポーター養成講座



企業向けの認知症サポーター養成講座

『認知症バリアフリー社会実現のための手引き』に基づいて講座を行います。手引きは「金融機関編」「小売編」「住宅編」など、受講者の職業や場面に合わせて実施します。

☆開催場所や時間など相談に応じて対応できます☆
※認知症バリアフリー社会とは、認知症の偏見など暮らしの中のさまざま障へきがない社会です。実現のためには、企業の皆様の協力が不可欠です。



受講した企業様には、事業所や店舗に貼れるステッカーを進呈しています！



「認知症の人が来店したら？」など、認知症の人に声をかけたり、対応するときのシミュレーションをしました。



◎若年性認知症

65歳未満で認知症を発症した場合を若年性認知症といいます。認知症高齢者に比べ人数も少なく、十分な支援を受けられていないのが現状です。また、働き盛りの世代で発症することから、経済的・社会的な課題を抱えている場合が少なくありません。気になることや心配な方がいらっしゃいましたら、若年性認知症コーディネーターや相談窓口をご紹介します。本宮市役所高齢福祉課や、地域包括支援センターへご相談ください。